認定 NPO 法人ｻﾞﾝﾋﾞｱの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第１５０号（R6.2.18）

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7（メール info@ormz.or.jp）文責：日高良雄

はじめに　早や２月も中旬となり、宮崎では寒緋桜に河津桜があちらこちらで満開となっています。毎年のように春が早く訪れるようになりましたね。

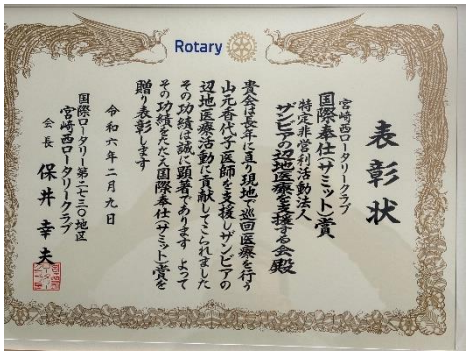
さて、今回も昨年同様、メールによる総会開催により会員全員からの承認を受けました。ORMZ ニュース第 150 号では、昨年の活動報告や決算、そして今年の活動計画、活動予算（活動計算書）をご報告、ご説明いたします。

昨年は、念願のヘルスポスト建設が完成しました。今後、資機材購入、搬入を経て、5 月もしくは 6 月には引き渡し式を行う予定です。当法人の活動にとって、大きな節目となります。皆様にはこれまでの多大なるご支援に心から感謝申し上げます。

会の経過報告等

・令６年２月５日、理事会において 2023 事業年活動報告、決算、2024 事業年活動計画案、予算案等について承認を受けました。通常総会については、メールによる全会員への協議依頼を２月 10 日に行い、18 日をもって、協議事項について全員から原案すべてに賛同との承認を受けました。協議事項の中では、法人活動について本年末をもって終了すること、ルアノのヘルスポストが稼働を始めた時点で巡回診療を終了し、現地事務所を閉鎖、その後、臨時総会にて法人解散の議決を行う予定となりました。

・２月９日、宮崎西ロータリークラブ様から、国際奉仕賞（サミット賞）をいただきました。



2023 事業年の活動報告、決算及び 2024 事業年活動計画、予算について

2023 年活動報告　　（詳細はホームページ「https://ormz.or.jp/」をご覧下さい）

・**巡回診療事業**　チサンバ郡ルアノ地区は月１回、計 11 回、サンダラ村は月１回、1～3 月、12 月は道路状況悪く行けず、計８回、ニャンカンガ地区は月１回、計 12 回、ルアノ郡のリテタ地区で月１回、1～3 月、12 月は道路状況悪く行けず、計６回の併せて 37 回実施し、合計 4,047 人の診療を行いました。併せて、各地区のコミュニティヘルスワーカー（ＣＨW）に対し、巡回診療時にマラリア検査キット、抗マラリア薬、解熱剤などを渡し、ルアノ 4,747 人、サンダラ 1,800 人、ニャンカンガ 4,643 人、リテタ 602 人、計 11,792 人への検査や投薬が実施されました。

・**ＣＨWの研修**　ネイバーフッドヘルスコミッティ（NHC）メンバーを含めたセミナーを各４地区で実施し、合計 61 名が参加しました。

・**ヘルスポストの設置**　ルアノ地区のヘルスポストとスタッフハウス建設は７月に着工、11 月末に完成、12 月１日に建設業者から引き渡しを受けました。念願のヘルスポストが完成しました。

山元先生によるミーティング

・**収入創出活動**　ＣＨＷ及びネイバーフッドヘルスコミッティ（ＮＨＣ）の収入創出活動としてカルテ用のノートの販売やキャベツ、オクラなどの野菜の種を配布しました。

完成したヘルスポスト

・**井戸掘削等**　今回建設したヘルスポスト近くに１基、そしてサンダラに１基の２基、井戸掘削を行いました。また、各地区に掘削した深井戸、5 本の修理を行いました。

・**広報活動**　ホームページ上で活動内容を伝えるニュースを計 12 回配信すると共に、適宜ホームページの更新、さらに Facebook で現地の活動の様子やザンビアの情報などを投稿しました。

・写真家の上山敦司氏がニャンカンガの巡回診療に同行され、その際の様子を記録した動画が後日 YOU TUBE に投稿された。　（https://www.youtube.com/watch?v=owvI-BQpv0Y）

2023 年決算報告

・**経常収益**　会費・賛助会費収入が 3,985,028 円、寄附金収入が 6,379,668 円で、雑収益 811,229 円を含め**総計は 11,175,925 円**となりました。

・**経常費用**　主な支出としては、ヘルスポスト建設費用として 21,267,150 円、巡回診療に伴う薬剤購入費 2,960,053 円、旅費交通費 2,383,474 円となり、人件費として臨時雇いの方や福利厚生費などを含め合計 5,515,643 円、車両の減価償却費 1,597,843 円などで、**総計 38,817,240 円**でした。

・**繰越正味財産**　これらの結果、当期正味財産は 27,641,315 円の減額となり、繰越正味財産は 33**,163,345 円**となりました。

2024 年事業計画、予算

・**事業実施の方針**　法人の活動目的を達成するため、巡回診療事業、ヘルスポスト引き渡しに関わる事業などを実施し、本年中の法人解散に向けた準備を行うこととします。

①巡回診療は、ルアノ、ニャンカンガ、サンダラ村でそれぞれ月１回実施。なお、ルアノ地区とサンダラ村については、ルアノのヘルスポスト引き渡し（5 月か 6 月）後スタッフが配置され、その稼働が始まる（9 月を予定）まで実施し、ニャンカンガ地区では８月までの実施と考えています。

②ルアノに建設したヘルスポスト・スタッフハウス周辺の囲いを造設、機材の購入搬入を行います。

③ヘルスポストに配置されるスタッフ用のモーターバイクを購入します。

④ルアノ地区の診療に使用していた建物を修繕し、お産を待つ妊婦が宿泊休憩できる部屋を整備すると共に、利用者が利用できるキッチンを整備します。

⑤ルアノまでの道路整備について、優先順位をつけた上でその整備への補助を行います。

⑥ヘルスポストスタッフの配置・定着がより行われやすくなるよう、ヘルスポストに隣接するコミュニティスクール校舎の整備、机・椅子など必要な器材の提供を行います。

⑦従来実施してきた、CHW や NHC の収入創出活動や蚊帳の配布、広報活動を実施します。

2024 年事業予算　　**経常収益については、これまで説明してきましたように会費、寄附は辞退し、雑収益のみの 220,000 円**とし、**経常費用**としては、巡回診療の薬剤購入費、旅費交通費、車両維持、啓発・研修費等に加え、ルアノ地区でのヘルスポスト・スタッフハウスの資機材購入搬入経費や産婦の宿泊施設等の整備費用、及び道路整備やコミュニティスクール整備費用として建設費**、13,700,000 円**を計上したことで、総額**を 30,897,000 円**としています。

2024 事業年においては、最終活動年として、巡回診療活動はもとより、完成したヘルスポストがより有効に活用されるよう、これまでのご寄附による正味財産を活かしてザンビアの人々の医療体制のより

良い方向に向けた業務を、スタッフ一同力を併せて行っていきたいと考えています。

＊詳しくはホームページに掲載しておりますのでご覧下さい。（ https://ormz.or.jp/ ）

現地活動報告（山本ひとみ）　巡回診療】

1月3日　ルアノ

・診療数106名、マラリア陽性数6名中2名　妊産婦検診31名　道中の診察0名

・主な訴え、疾患等：気道感染症、皮膚疾患、胃腸炎、腰痛などからだの痛み

・重症例、搬送例：なし

・予防接種の種類: OPV(経口ポリオ)& PCV(肺炎球菌)&DPT-HepB-Hib (五種混合:ジフテリア, 百日咳, 破傷風, B 型肝炎, ヒブ)&ROTA(ロタウイルス):26, BCG:6, MRV(麻疹風疹):14, IPV (不活化ポリオ):4

・3 日ほど雨が降っておらず、水たまりは少なかったが、丘陵地は砂が雨で流され、岩が表面に出ており、特に登りの通行が困難。

・先月、下腹が痛いと来ていた女性。カブエの病院で検査を受けたが、処方された薬は所持金の関係で買えなかったという。下腹の痛みは続いており、再来。

・右ひざの痛みを訴えている男性。(2023 年 11 月チペンビクリニック受診、記載 23 歳、同月カブエの病院受診、記載 22 歳、2024 年 1 月巡回診療受診、24 歳と主張。年齢は不詳。)歩くときに痛いという。レントゲン検査では異常は無く、処方されたのは Pracetamol のみだったという。注射をして様子を見ることになった。

1月10日　サンダラ

・「道路状況が雨のため悪化し、車の通行はできなくなっている」とのこと、巡回診療は中止となった。

・なお、この状況を予測し、昨年 12 月、コミュニテイヘルスワーカーさんたちにマラリア検査薬などを多めに配布してきていた。今後も現状把握のため、現地コミュニティと連絡を取っていく予定。

1月24日　ニャンカンガ

・診療数120名、マラリア陽性数25名中8名　妊産婦検診12名　道中の診察0名

・主な訴え、疾患等：気道感染症、腰痛などからだの痛み、皮膚疾患、胃腸炎、寄生虫疾患

・重症例：なし

・予防接種の種類: OPV(経口ポリオ)& PCV(肺炎球菌)&DPT-HepB-Hib (五種混合:ジフテリア, 百日咳, 破傷風, B 型肝炎, ヒブ)&ROTA(ロタウイルス):14, MRV(麻疹風疹):4

・現地は 7 日間雨が降っていないらしく、道路状況は比較的良好。昨年ダメージがひどかった川への進入路は、前もって補修を依頼していたところ、土や木で埋められており、スムーズに通行できた。

・コレラが流行しているため、コレラ予防の啓蒙活動としてクロリンと石鹸、注意を呼びかける説明書を配布した。

クロリンの説明をしている様子

賛助会費・ご寄附の納入は辞退します（不要となりました）

・2 月に開催しました総会にて本年中の法人解散の方針が決まりました。なお、これまでいただいたご寄附等による正味財産が多額であるため、今年の賛助会費、ご寄附は辞退します（不要となりました）ので、ご理解くださいますようお願いいたします。

多くの皆様のご支援に心から感謝申し上げます。